利便性と安全性を兼ね備えた「KYOTO Wi-Fi」認証方式等の変更について

平成27年9月5日 京 都 市

京都市では、市民や観光客の皆様に、より安心で快適な Wi-Fi サービスを提供 するため、10月1日から、利用に当たっての認証方式の変更及びフィルタリン グ機能の強化を下記のとおり実施します。

記

1 認証方式の変更について(新たな認証方式の詳細については,別紙参照)

「KYOTO Wi-Fi」の利用に当たっては、平成26年12月から、公共施設に 設置したものを除き、利用規約に同意するだけでWi-Fiが利用可能な認証方式 を採用し、1、600箇所以上のWi-Fiスポットにて、1箇月27万件にのぼ る利用が行われるなど、大変好評を得ています。

しかし,この認証方式に対しては,「不正行為を行った者の特定が難しい」 など,利便性と安全性の両立が課題でありました。

これは,全国的な課題であり,総務省や観光庁においても検討が進められて います。

そのため、国に対してセキュリティや認証方式の基準を定めていただくよう 要望しつつ、京都市としても可能な範囲で改善を図ってまいりましたが、この 度、京都府警察との協議を重ね、運用事業者の協力の下、「KYOTO Wi-Fi」を利 用して不正行為を行った者を特定できる仕組みを確保し、利便性と安全性を兼 ね備えた新たな認証方式を導入することとしました。

新たに導入する認証方式については、利用者が実際に利用しているSNSア カウント**又はメールアドレスの入力による認証の2方式となります。現在の 方式より若干手間がかかりますが、いずれの認証方式もWi-Fiのインターネッ ト接続環境を使用して認証を行うため、日本の携帯通信環境をお持ちでない方 でも、引き続き、無料で御利用いただけるなど、利便性は十分確保されていま す。

また,現在の認証方式よりも利用者を特定する機能が大幅に向上するなど, 利便性と安全性の両立でより安心で快適なWi-Fiが御利用いただけるようにな ります。

※ 「SNSアカウント」とは、FacebookやTwitter等のSNSにログインするためのア カウントであり、「ID」と「パスワード」を指します。

SNSアカウント認証

- ① 利用規約画面で、認証に利用するSNSを選択します。
- 利用者自身のSNSアカウント(ID, パスワード)を入力します。
- ③ 認証完了後,「KYOTO Wi-Fi」が利用できます。

(2) メールアドレス認証

- 利用規約画面で、「メールアカウントでログイン」を選択します。
- ② 利用者自身のメールアドレスを入力し、仮登録を行います。
- ③ 仮登録されたメールアドレス宛てに送られるメール本文に、本登録用リンク先が記載されていますので、リンク先をクリックすることで本登録が完了します。
- ④「KYOTO Wi-Fi」が利用できます。
- ※ 認証の際に必要なインターネット接続は、「KYOTO Wi-Fi」の接続環境上で行っているため、通信費用は不要です。ただし、②の仮登録後、5分以内に③の本登録が完了しない場合は、インターネット接続が切断されます。 また、一度、本登録を行うと、1箇月間は、①のみで「KYOTO Wi-Fi」を利用できます。

2 フィルタリング機能の強化について

有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリングについては,現在,「児童 ポルノ」のサイトのみを対象としていますが,青少年等を犯罪の被害から守る ため,新たな認証方式の導入に合わせて,次のサイトを追加します。

<追加対象とするサイト>

- 「不法サイト(違法と思われる行為・薬物等)」
- ・「セキュリティ上,問題のあるサイト(ワンクリック詐欺等)」
- 「アダルトサイト (ポルノ等)」,「出会い系サイト」
- ・その他有害サイト(暴力組織,武器等)
- 3 変更日

平成27年10月1日(木)

ただし、公共施設における「KYOTO Wi-Fi」の認証方式は、平成28年1月から変更予定。

設置箇所	箇所数	合計
商業施設	999箇所	
市バス停	383箇所	
地下鉄駅	31箇所	「 、 ひちち面所 (平成27年8月1日現在)
セブンイレブン	124箇所	
公共施設	116箇所	

4 KYOTO Wi-Fi の設置箇所数について

今後は,鉄道事業者や商店街,宿泊施設等の観光客の多くが利用する施設へ の設置を進めていきます。

新たな認証方式の利用に関する画面遷移イメージ

STEP 2



STEP 3

SNSアカウント認証の場合

STEP 1

端末の設定画面で SSID KYOTO Wi-Fil を選択後、ブラウザを起動すると、下の 画面が表示される。



